

令和元年度 森林環境譲与税の用途について（新居浜市）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
公有林整備	別子山地区森林整備事業	24,993	10,000	14,993	新居浜市別子山地区内の市有林整備の実施（市有林の搬出間伐等実施に向けた森林作業道の開設）	森林作業道の開設延長：430m 森林作業道改修：400m	【ワンフレーズ】 森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。 【詳細】 別子山地区内の北側に有する市有林へ向けて森林作業道を開設する。市有林到達後は、作業道の開設と並行して、搬出間伐等を実施し、搬出材を地域の木材加工所で活用することにより、地域における雇用創出と活性化に繋げることを目標とする。また適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養等の森林機能の発揮を図る。令和元年度は、既存道の改修(400m)、森林作業道の新設(430m)を実施。3年後に市有林からの搬出間伐を実施予定。
森林・林業・木材普及活動等	誕生祝品贈呈事業	21,245	4,347	16,898	地元企業等と連携し、地産地消のオリジナル木製玩具を製作、誕生祝品として新生児にプレゼントする。 木育を推進するため、乳幼児児童を対象とした、体感型イベントである「木育キャラバン」を開催した。	普及啓発イベント等 開催回数：13回 参加者：2550人	【ワンフレーズ】 税活用により、市民に広く木材の普及啓発を実施できた。 【詳細】 ・新居浜市ならではの地産地消のオリジナル木製玩具を製作、新生児にプレゼントすることにより、多くの市民に森（木）に囲まれて生活する環境・歴史を再認識してもらい、子供が育つ環境の中に木材を取り入れるきっかけづくりとなることで、木材利用促進への普及啓発につながった。 ・幼児から大人まで十分に楽しめる木を使った体験型イベントである「木育キャラバン」を実施することにより、地域の人々が「木育」を通じて交流する機会が広がり、森林・木材の大切さについて市から市民へわかりやすい形で普及啓発する場の提供につながった。 ・「木育キャラバン」来場者アンケートを実施した結果、多くの来場者から木という素材の有用性を再認識し、暮らしに木を取り入れていきたい、森林整備・木材利用の必要性が高まった、との回答を得られた。